

1. 教員の養成の目標及び計画

本学では、建学の精神「真理はわれらを自由にする」に則り、真理を求め自由を愛する文化的で自立した個人を育成し、民主的で平和な市民社会の実現をめざすことを大学教育の基本理念としている。

本学教職課程では、この基本理念を踏まえて、真理探究の徒としての教師を育成すること、またこの精神を次の世代に確実に伝達していく力量を持った教師を育成することを理念としている。そのうえで、教師を育成するにあたって以下の3つの目標を掲げている。

1. 得意分野をもつ個性的な教師の育成

教師となる者は、ひとつの専門分野に対して生涯にわたって興味を維持し探求を続け、それを得意分野として確立することが求められる。得意分野の探求を通して根源的な真理に近づき、自由と普遍性を獲得し、地球的視野を広げることが期待される。

2. 専門職としての実践的指導力をもつ教師の育成

教師は、教科等に関する専門的知識や豊かな教養を基盤にして教育の成果を最大限高めるための教育方法・教授技術を身につける必要がある。そのためには、人間の成長発達について深く理解し、発達段階に応じた適切な教育方法を模索しながら工夫する教師であること、さらに教師としての使命感と誇りをもった職業人であることが求められる。

3. 豊かなコミュニケーション能力を持つ教師の育成

教育の成果を最大限引き出すためには、教職員全体と同僚として協力し合い、保護者や地域住民と連携することが不可欠である。その基盤となるのは、相互の信頼関係に基づいたコミュニケーションである。また児童・生徒に対しては、カウンセリング・マインドをもって彼らが直面するさまざまな問題に対して真摯に向き合い、問題解決を有効に支援できる教師となることが期待される。

本学では教員養成の理念と3つの目標に基づき、次世代を担う教員の育成に取り組んでいる。教職課程は、文学部(国際言語・文化学科、史学・文化財学科、人間関係学科)、食物栄養科学部(食物栄養学科、発酵食品学科)、国際経営学部(国際経営学科)の3学部6学科に置かれ、中学校教諭(国語、美術、英語、社会、理科)と高等学校教諭(国語、美術、英語、地理歴史、公民、理科、商業)、栄養教諭、司書教諭を養成している。

さらに、大学院文学研究科(日本語・日本文学専攻、臨床心理学専攻)では中学校教諭(国語)と高等学校教諭(国語、公民)、食物栄養科学研究科(食物栄養学専攻)では栄養教諭のそれぞれの専修免許課程を設置し、より専門性の高い教員養成に努めている。